

9/14
五旗

9条は「日本の生きる道」



元伊達郡飯野町(現福島市)町議会議員

佐藤 修一さん

超えました。

終戦のとき14歳、国家総動員の波が田舎にも押し寄せ、子どもでさえ敵しい時代でした。戦後、憲法を初めて見たときは、「すごい。これは理想だ。日本の生きる道はこれしかない」と感動でいっぱいでした。戦争法を実施し海外で銃器を使えば、だんだん武力で押し通すことになる。9条を守っていけば、そういう逸脱を許さないことが可能です。

野営共闘は始まったばかりです。いろんな考えを持って、いる人が一つのことと力を合わせてるのは良いことです。大まかなうねりになれば憲法9条が生きてきます。

この数年、秘密保護法、集団的自衛権行使容認の閣議決定、戦争法の強行と続き、戦時中を思い出して不安になりました。

住職にも勧められるまでになり、「おまえのところに呼びかけ人の話ほこなかつたのか」と町民の話題にもなるほど、署名数は人口の35%を

福島で「嘘」沖縄に「暴力」



作家

渡辺 一枝さん

発事故が「収束した」なんて嘘ばかりだ。オリンピックより我々の暮らしを返せ！

毎朝怒りで目覚め、夜挙・暴走によって引き起は怒りを抱いて眠る。当こされていることは、周然ながら毎夜の夢も気色 困の人たちの言葉からもの悪いものばかりだ。原はつきりしている。

毎月通っている福島県の南相馬では、会う人たちがみんな言っている。「自分の家に戻って住むことはできないし家族も地域のコミュニティーもバラバラになった。」(原)

戦争法強行
1年
9.19
各界から